



●図書館オリジナルグッズ完成

笑って泣いて怒ってこまって・・・また笑う
めくるたびに表情が変わる



ライムシールメモ

みいなちゃん、けんさくくん、
ライム博士、3人の表情豊かな
シールメモ(付箋)を作りました。
どこにも売っていない図書館
オリジナルです。

愛称募集に応募していただいた方、
全員に差し上げます。「応募したよ～」
という人は、カウンターで受け取って
ください。



◆Contents◆

- <トピックス>
 - ライムシールメモ完成
 - 学生選書ツアーに行ってきたよ
 - 文献検索ヘルプデスク
- <お薦め図書>
 - 『歴史を動かしたフレゼン』
- <つぶやきライム>
 - タイムカプセル発見?
- <1階展示コーナー> 松高と図書館

●学生選書ツアーに

行ってきたよ!!

今年は、3人の学生さんが参加してくれました。人数的には寂しかったのですが、書店に行って、思い思いの本を選んでくれました。選書なんて、なかなか体験できることではありません。これまでのアンケートでも、みなさん必ず「また参加したい」と書いてくれています。

購入した図書は、7月下旬には借りられるよう準備中です。

(暑～い、でも楽しかった～!)

さあ、もうすぐ前期試験が始まるよ。資料集めで困ったらカウンターに相談

<文献検索ヘルプデスク>がオープンします

あなたのレポート、卒論研究のテーマは何ですか?テーマに応じて、参考になる図書や雑誌論文、データベースなどを一緒に探しましょう。



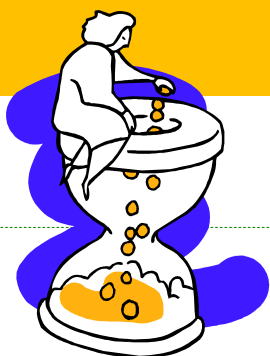
実施期間	7月1日(木)～7月30日(金) 9:00～17:00
場 所	図書館1階カウンター横 <文献検索ヘルプデスク>
申込方法	希望する日の3日前までに、申込書を提出してください。

1 階展示コーナー

「松高と図書館」

7月から、旧制松江高等学校時代からの図書館の歴史と資料を紹介する企画展示を開催中です。

松高開学から90年間にわたり、図書館は少しずつ施設やサービスを拡大してきました。そしてこれから先も、必要とされるサービスを提供していけるよう、進化していきたいと思えます。



<お薦め図書>

『世代格差ってなんだ』

高橋亮平ほか著

参議院選挙が近づき、聞こえてきそうなのは「近頃の若い者は選挙にも行かず…」という声ですが、そう漏らしてしまう年代の方は、どうして彼らが政治に関心が薄く、社会参加に消極的な傾向にあると思うのでしょうか。目先の関心事ばかりに夢中だから？この不況社会に希望が持てないから？意欲が見えないせいでしょうか？

一方、そんな若者といわれる学生の皆さん、もし、「あなたは、今の時代に生まれて幸せですか？」と問われたら何と答えますか。充実した大学生活を送っている方は、「幸せ」だと答えるのでしょうか。ではそこで、「あなた達の世代は大変な損をしていますよ。」と耳元で囁かれたらどう感じるでしょう。

本書は、若者による、若者のための一冊です。雇用問題、社会保障など世代によって起きている不公平の本質を次から次へと明らかにし、社会を動かす若い人達へワカモノ・マニフェストとして具体的な提案を投げかける一冊です。

この本がいうように、日本で進められている政策が高齢者へ有利に働き、若者の視点では考えられていないとすれば、若者にとって政治がわかりづらく、関心が持てないというのは当然だともいえます。そしてその不利な現状は学生のみならずにとっても深く影響しており、新規採用での就職、高学歴フリーター、インターンシップでの政治参画などの身近な問題にも及んでいるとしています。

手始めに、とりあえず先輩世代のことは置いて考えてみることで、複雑に思えた社会も意外とわかりやすく、今までよりもはっきりと問題点が見えてくるのかもしれない。読んでみて、「ちょっと待って。それはおかしくない？」と感じたのなら、それが政治に関わっていく大切なステップであると思うのです。(F)

【081/P56/678 PHP 新書】

<つぶやきライム(6)>

タイムカプセル発見？

図書館の目録が電子化される 1988 年以前に受入れられた図書の入力作業をしていて、作業の手を止めてしまうことがあります。本の間に挟まれた思いがけないものに遭遇するからです。

- ガリ版刷り、手書きの教室会議の案内（ガリ版刷りってわかりますか？）
- 履修届（今はもうない農学部だとか理学部だとか・・・）
- すっかり色あせた手紙や葉書の礼状（皆さん達筆！）
- 元職員が 28 歳の時の国鉄の定期券
（今はすっかりイカツイおじさま。その頃の顔を想像してしまいました）
- 登山記念の白黒写真 などなど

挟まれていた四つ葉のクローバーは、摘んだ当時の緑色をどこかに置いてきたかのような色でした。挟んだ人は幸せになったのかな？

この作業について 10 数年。ちょっとしたページの隙間の膨らみに、胸がドキドキしたこともありました。封筒が一通、なにやら怪しい厚み、外には「図書券」の文字（^v^）。開けてみると丁寧に図書券の外包み、中身は空っぽ(;一一)。今では、図書券自体も珍しい・・・カードになっちゃいましたからね。

検索サイトも充実し、図書自体も紙から電子になりつつある現在、近い将来、この作業も終了してしまえば、こういった過去の遺物にふれ、思いにふけるようなことも無くなるのでしょうか。過去からのタイムカプセルのような忘れ物。こんなことも楽しみにしながら、もうしばらく作業を続けようと思えます。

(⊕)



(みいなちゃん)

7月に入ると試験が目の前。図書館は利用者が多くなるので、席の確保と、それからコピー機の前も人が多くて大変。



(けんさくくん)

1年で1番入館者が多いのが7月なんだよね。レポートの課題が出てるんだけど、困った時には「文献検索ヘルプデスク」を利用してみよーっと。



(ライム博士)

1年生にとっては初めての試験だね。涼しい図書館でゆっくり勉強しようと思って来てみると席がない・・・かもしれない。

去年の7月の入館者数は約5万人で、1日平均1,600人。年平均は900人だから、通常の倍近くの利用があるんだ。こんなに利用してもらえると嬉しいけど、飲み物、携帯電話、おしゃべりなどマナーには気をつけよう。